

平成20年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12	7.2	9.6	48	2	11
鴨川	新大宮バイパス線下	8.9	2.2	5.1	24	8	13
	加茂川橋	6.2	2.3	4.6	32	7	15
	学校橋	6.9	2.9	4.5	36	5	13
	中土手橋	8.5	4.1	6.1	55	11	26
	さくら草橋	9.7	3.9	6.0	34	8	24
鴻沼川	櫛引橋	6.6	1.0	3.1	50	3	14
	霧敷橋	13	6.5	9.0	16	1	5
	新開橋	9.8	4.3	6.7	43	8	17
笹目川	市立浦和南高校脇	10	2.6	6.3	13	3	7
藤右衛門川	柳橋	9.3	2.3	5.8	24	6	14
芝川	野原橋下流200m(船橋)	7.3	4.9	6.0	19	5	10
	境橋	7.3	4.0	5.6	22	8	12
	大道橋	7.4	4.1	5.6	53	10	30
	八丁橋	9.0	3.6	5.6	49	10	25
深作川	宮ヶ谷塔橋	10	2.2	6.3	39	5	21
綾瀬川	高野橋	10	2.7	6.6	23	8	13
	戸井橋	9.8	2.9	6.7	41	7	23
	躰橋	10	3.3	6.9	51	10	26
元荒川	城北大橋	9.3	3.6	6.7	30	4	11
	新曲輪橋	9.4	3.7	6.7	33	4	12
	永代橋	10	4.9	8.1	28	5	13
古隅田川	城殿宮橋	6.6	2.4	4.2	33	10	22

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成21年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	6.7	9.6	20	3	6
鴨川	新大宮バイパス線下	8.9	3.9	5.7	72	9	24
	加茂川橋	6.9	2.2	4.7	40	5	20
	学校橋	6.7	2.9	4.6	23	6	13
	中土手橋	8.4	4.5	6.5	36	10	19
	さくら草橋	10.0	3.5	6.9	32	5	16
鴻沼川	櫛引橋	9.1	2.3	5.4	38	7	20
	霧敷橋	18	7.5	10.7	16	1	5
	新開橋	9.7	5.3	7.3	34	4	17
笹目川	市立浦和南高校脇	10	2.6	5.3	43	4	11
藤右衛門川	柳橋	8.4	3.6	5.8	30	7	17
芝川	野原橋下流200m(船橋)	6.7	3.6	5.3	25	5	10
	境橋	5.6	2.9	4.5	17	7	10
	大道橋	7.3	4.0	5.4	78	10	29
	八丁橋	6.3	3.2	5.1	40	11	25
深作川	宮ヶ谷塔橋	10	4.7	7.2	50	4	19
綾瀬川	高野橋	10	5.1	7.2	86	6	19
	戸井橋	12.0	4.9	7.6	42	6	22
	躰橋	13	5.2	7.6	40	5	23
元荒川	城北大橋	10.0	6.0	7.5	20	4	11
	新曲輪橋	9.6	5.8	7.5	19	5	11
	永代橋	12	4.4	8.4	28	5	12
古隅田川	城殿宮橋	6.3	3.2	4.8	82	12	24

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成22年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12	6.9	9.4	17	3	8
鴨川	新大宮バイパス線下	6.7	3.5	5.5	35	8	18
	加茂川橋	7.3	3.4	5.7	35	8	16
	学校橋	9.6	2.9	5.6	25	5	11
	中土手橋	8.8	3.5	7.0	39	12	23
	さくら草橋	11.0	4.5	7.7	59	10	21
鴻沼川	櫛引橋	8.4	3.1	5.3	29	6	16
	霧敷橋	13	7.5	9.5	11	1	6
	新開橋	9.1	4.2	7.0	22	5	12
笹目川	市立浦和南高校脇	10	3.7	6.4	24	3	10
藤右衛門川	柳橋	9.0	4.5	7.0	49	5	18
芝川	野原橋下流200m(船橋)	7.3	3.7	5.9	22	6	11
	境橋	8.7	3.6	6.3	34	2	13
	大道橋	8.9	3.4	5.8	41	3	21
	八丁橋	8.1	3.7	5.8	50	6	23
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	3.0	7.3	44	2	21
綾瀬川	高野橋	10	2.2	7.3	100	4	22
	戸井橋	9.6	3.1	7.3	59	5	25
	躰橋	11	3.0	7.7	55	5	23
元荒川	城北大橋	11.0	3.0	7.4	17	4	9
	新曲輪橋	10.0	3.0	7.5	23	5	9
	永代橋	11	3.9	8.4	26	5	10
古隅田川	城殿宮橋	9.5	2.4	4.9	37	9	19

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成23年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	11.0	5.2	8.7	26	3	8
鴨川	新大宮バイパス線下	7.9	3.1	5.4	59	6	14
	加茂川橋	7.4	3.5	5.6	42	4	12
	学校橋	7.3	3.6	5.6	67	5	14
	中土手橋	10.0	5.4	7.4	52	8	23
	さくら草橋	11.0	4.2	7.5	31	5	17
鴻沼川	櫛引橋	8.1	2.2	5.4	29	4	16
	霧敷橋	12.0	5.8	8.9	10	1	3
	新開橋	10.0	3.5	7.3	19	3	10
笹目川	市立浦和南高校脇	8.0	3.2	5.7	17	3	7
藤右衛門川	柳橋	8.1	3.6	6.3	28	6	14
芝川	野原橋下流200m(船橋)	7.2	4.3	5.9	30	4	12
	境橋	7.6	4.1	5.5	16	5	11
	大道橋	8.0	3.9	5.7	28	10	17
	八丁橋	7.0	3.5	5.5	37	9	23
深作川	宮ヶ谷塔橋	13.0	5.8	8.0	38	4	21
綾瀬川	高野橋	11.0	5.5	7.7	24	6	16
	戸井橋	10.0	5.6	7.6	45	5	21
	暇橋	11.0	5.9	7.7	45	5	23
元荒川	城北大橋	9.9	5.1	6.9	21	5	10
	新曲輪橋	9.9	5.0	7.1	33	6	12
	永代橋	10.0	6.1	8.5	44	5	15
古隅田川	城殿宮橋	7.4	2.8	4.9	32	11	18

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成24年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	11.0	6.8	8.9	24	3	8
鴨川	新大宮バイパス線下	7.5	3.6	5.6	20	5	10
	加茂川橋	11.0	3.4	6.2	80	4	24
	学校橋	15.0	4.1	7.1	45	7	17
	中土手橋	8.8	6.0	7.6	40	8	26
	さくら草橋	12.0	5.6	7.9	55	7	23
鴻沼川	櫛引橋	8.1	1.7	4.6	33	6	15
	霧敷橋	16.0	8.0	10.5	20	1	4
	新開橋	11.0	6.2	8.2	27	3	13
笹目川	市立浦和南高校脇	11.0	1.6	6.1	47	3	15
藤右衛門川	柳橋	7.2	4.4	5.6	32	6	16
芝川	野原橋下流200m(船橋)	7.4	3.3	5.5	20	6	11
	境橋	7.0	4.1	5.6	18	4	10
	大道橋	7.4	4.5	5.8	35	4	18
	八丁橋	8.8	3.5	5.7	42	11	22
深作川	宮ヶ谷塔橋	14.0	4.5	8.3	46	7	22
綾瀬川	高野橋	8.7	4.5	6.9	57	6	16
	戸井橋	9.1	5.1	7.3	36	13	20
	啜橋	9.2	4.4	7.2	35	15	23
元荒川	城北大橋	10.0	4.5	7.3	16	5	10
	新曲輪橋	9.0	4.9	7.3	18	6	10
	永代橋	10.0	5.6	8.4	18	7	11
古隅田川	城殿宮橋	8.6	3.4	5.2	33	13	22

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。